

平成 30 年第 1 回可児市議会定例会 委員会代表質問通告一覧表 3 月 2 日（5 日・6 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	伊藤 壽 (教育福祉委員会)	<p><u>1. 小中学校二学期制への移行について（教育長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>平成 30 年 4 月から実施される小中学校の三学期制から二学期制への移行について、目的、決定までの過程、子ども・保護者・教員等への周知、移行後の懸念事項、課題等について方策を問う。</p>

平成 30 年第 1 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 3 月 2 日（5 日・6 日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	澤野 伸 (誠颯会)	<p><u>1. 個人情報保護法改正による本市の条例改正は（総務部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>個人情報保護法改正に伴い、国が求める本市の個人情報保護条例における個人情報の定義の明確化、要配慮個人情報の取扱い、非識別加工情報の仕組みの導入等に関する個人情報保護条例の見直しなどへの対応は。</p> <p><u>2. 本市の空家等対策計画の重点施策実施内容を問う（建設部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>空家実態調査で把握した空家等の所有者へのアンケート調査を実施し、これらの内容を踏まえ空家等対策計画が平成 29 年度から平成 32 年度の期間内に様々な対応を実施される事になった。実施される施策内容を問う。</p>
2	高木 将延 (誠颯会)	<p><u>1. 消防団員確保と災害対応機能について（総務部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>この度「消防団員の確保方策等に関する検討会」の報告書が公表された。これを受け総務省で対応が計られると思われるが、それに先駆けて本市ではどのような取り組みを行っているのか、お伺いしたい。</p>
3	大平 伸二 (真政会)	<p><u>1. 開発許可基準に満たないミニ開発を問う（建設部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>可児市では一定の開発は都市計画法と市民参画と協働のまちづくり条例に基づき運用されているが、基準に満たない開発やまちづくり条例の対象外の開発行為で様々な問題が出ていることについて本市の考えを問う。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
4	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 障害がある人にも「住みごこち一番・可児」となるために (福祉部長・こども健康部長)</u>  <u>一問一答方式</u>            昨年は障がい福祉サービス施設が4カ所開設され、新年度からは基幹相談支援センターが設置されるなど、障がい者支援の体制は整いつつあるが、さらなる充実を期待したい。</p> <p><u>2. 18歳まで医療費助成制度を拡充しては (福祉部長)</u>  <u>一括答弁方式</u>            こども医療費助成について、これまで国は先行自治体に対して、ペナルティを課していたが、本年4月から、就学前までの分のペナルティが廃止される。この機会に、可児市でも18歳まで医療費助成が実施できないか。</p> <p><u>3. 可児郷土歴史館の改修はいつ (教育委員会事務局長)</u>  <u>一括答弁方式</u>            可児郷土歴史館は、美濃桃山陶の聖地のガイダンス施設またはエントランス施設に改修するということがあったが、現在のところ見通しが立っていない。早期に計画を立てることが必要ではないか。</p>
5	川合 敏己 (誠颯会)	<p><u>1. 市街地の雨水排水路の整備について (建設部長・水道部長)</u>  <u>一括答弁方式</u>            昨今の集中豪雨の状況から、雨水排水幹線、雨水排水支線の整備はますます重要となっている。市民のための更なる安全・安心なまちづくりを目指して、今後の雨水排水路の整備等について質問する。</p> <p><u>2. 今後の蘇南中学校の教室確保はどうするのか (教育委員会事務局長)</u>  <u>一括答弁方式</u>            児童数が増えている蘇南中学校区の各小学校では、プレハブ校舎の建設やキッズクラブの専用教室の建設が進んでいる。今後、生徒数の増加を見込む蘇南中学校の教室確保をどう考えていくのか。</p>
6	渡辺 仁美 (市民の声)	<p><u>1. 子どもの貧困対策について (教育長・こども健康部長・市民部長)</u>  <u>一問一答方式</u>            子どもの貧困が日本経済への42兆9千億円の損失をもたらすと言われている。可児市では子どもの貧困をどのようにとらえているか。福祉の分野のみならず教育の分野での把握状況や今後の方策等を尋ねる。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
7	天羽 良明 (誠颯会)	<p><u>1. 緊急時の情報発信手段の現状と今後について (総務部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>市民の命を守るための緊急時の情報発信手段 (防災無線放送、メールサービス等)の現状と4月から始まるFMららを活用した割込み放送について</p>
8	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 今後の介護政策、高齢者安気づくりについて (福祉部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>国の介護保険制度、報酬改定をうけ、市の今後の高齢者の介護政策・対応、第7期事業計画等について問う。</p>
9	山田 喜弘 (可児市議 会公明党)	<p><u>1. 本市のがん教育について (教育長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>2人に1人がかかると推測されているがんは重要な課題である。学校におけるがん教育の在り方について、健康教育の内容、がん教育が導入された場合の効果と課題、今後の取り組みについて問う。</p> <p><u>2. 本市の中小企業・小規模事業者の支援策について (観光経済部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>可児市創業支援事業計画における年間目標の達成と課題及び可児ビジネスカフェの相談日拡大と生産性向上特別措置法案に対する見解を問う。</p> <p><u>3. 警報等による待機となった児童・生徒の備蓄品の使用について (総務部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>各小中学校にある備蓄倉庫は原則避難者用である。児童・生徒が登校した後に警報等が発令して学校待機になった場合の備蓄品の使用について本市の見解を問う。</p>
10	田原 理香 (誠颯会)	<p><u>1. 地域福祉活動における個人情報の取り扱いについて (福祉部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>超高齢化時代の中で、地域での高齢者の見守り支援が必須となっている。その支援をよりスムーズに進めるためには、地域で一定の個人情報を共有する必要がある。現状をどう捉え、市が取り組むべき具体的な方策を問う。</p> <p><u>2. 市職員のメンタル不調の予防策を問う (市長公室長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>市ではメンタル不調などにより、長期に休んでいる職員が多いと聞く。こうした状況は職場環境に問題があるのではないか。それに対する市の見解と予防・ケア対策、職場復帰への道すじ等市の見解を問う。</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
11	板津 博之 (誠颯会)	<p><u>1. 東美濃観光振興について問う（企画部長・観光経済部長）</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>本市では、東美濃の国創りをキーワードに戦国城跡巡り、美濃桃山陶の聖地、癒しの空間木曾川左岸の3つの重点観光資源を中心とした観光振興をスタートさせるとのことだが、どのように進めていくのか。</p>
12	山根 一男 (市民の声)	<p><u>1. 人手不足に対応した市内企業への求人对策支援について（観光経済部長）</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>全国的に人手不足の影響が強まっている。本市の企業においても例外ではない。市内企業の求人对策支援は、波及的に市の活性化や人口減を食い止める上でも必要に迫られている。対応策はどうか。</p> <p><u>2. 公契約の望ましいあり方について（総務部長）</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>公契約は、単なる金銭授受の約束ではなく、その品質を保ちつつ、なおかつ住民福祉の向上や、地域活性化に役立つようであればならない。これらの理念を内外に指し示す上で公契約条例の制定が必要である。</p>

**この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。**